



2024年11月6日

各位

会社名 株式会社 J - M A X
代表者名 代表取締役 山崎 英次
社長執行役員
(コード番号 3422 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取締役常務執行役員 青山 秀美
(TEL 0584-48-2832)

【開示事項の経過】連結子会社(孫会社)異動に係る特別利益の計上及び固定資産に係る減損損失の計上並びに2025年3月期通期連結業績予想修正に関するお知らせ

2025年3月期中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)において、当社の連結子会社である広州丸順自動車配件有限公司(以下「広州丸順社」という。)が保有する広州恒邦倉儲有限公司の持分譲渡に伴う特別利益の計上及び武漢丸順自動車配件有限公司(以下「武漢丸順社」という。)が保有する固定資産について、減損損失を計上することといたしました。また、最近の業績動向を踏まえ、2024年8月7日に公表した2025年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結子会社(孫会社)の異動(持分譲渡)に係る特別利益の計上

当社は、2024年1月31日に公表いたしました「連結子会社(孫会社)の異動(持分譲渡)に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年6月26日に当社の連結子会社である広州丸順社が保有する広州恒邦倉儲有限公司の持分すべてを広州市盛鴻置業投資有限公司に譲渡いたしました。本譲渡に伴い、2025年3月期中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)において、子会社株式売却益2,126百万円を特別利益に計上いたしました。

なお、2024年6月26日の譲渡実行により、当中間連結会計期間の末をもって広州恒邦倉儲有限公司を当社の連結範囲から除外しております。

2. 固定資産に係る減損損失(特別損失)の計上

当社の連結子会社である武漢丸順社が保有する固定資産について、構造改革の一環として当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減少し、2025年3月期中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)に当該減少額960百万円を減損損失として特別損失に追加計上いたしました。

3. 2025年3月期通期業績予想の修正について

(1)2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 46,000	百万円 50	百万円 △400	百万円 △1,600	円 銭 △139.72
今回修正予想(B)	46,000	50	△400	△2,400	△209.43
増減額(B-A)	0	0	0	△800	
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	—	
(参考)前期実績 (2024年3月期)	54,347	1,041	731	△1,026	△89.45

(2) 修正の理由

2025年3月期の通期連結業績につきまして、中国拠点における主要客先減産への対応として、更なる構造改革の推進に伴う関連費用を特別損失に計上すること等により、親会社株主に帰属する当期純利益は予想値を下回る見通しとなりました。

以上